

山梨県立美術館協議会

平成25年2月22日(金)

目	次	ページ
山梨県立美術館協議会名簿		1
美術館関係者の行動規範について		2
施設利用状況		5
観覧者数の推移		7
平成25年度特別展等予定		9
平成25年度教育普及事業予定		10
寄贈・購入・寄託作品一覧		11

山梨県立美術館協議会名簿

(任期 平成24年10月1日～平成26年9月30日)

区分	氏名	役職	出身分野
			出身団体等
委嘱	そね あつこ 曾根 敦子	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係
			笛吹市教育委員
"	うの いちお 宇野 五千雄	県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係
			笛吹市社会教育委員
"	あきやま ひろし 秋山 弘	ミュージアム甲斐・ネットワーク (美術)代表	学識経験者
			春仙美術館事務局長
"	つるた いちよう 鶴田 一香	県文化協会連合会会長	学識経験者
"	ふるや ともこ 古屋 知子	県立美術館協力会会長	学識経験者
"	すだ くにお 須田 國生	山梨美術協会会長	学識経験者
"	おおむら さとし 大村 智	県総合理工学研究機構名誉顧問	学識経験者
"	のぐち えいいち 野口 英一	(報道関係) 山梨放送・山梨日日新聞社社長	学識経験者
"	かねまる やすのぶ 金丸 康信	(報道関係) テレビ山梨代表取締役社長	学識経験者
"	ほった かずあき 堀田 一朗	(報道関係) NHK甲府放送局局長	学識経験者
"	うえまつ ますみ 植松 増美	アサヒビール(株)名誉顧問	学識経験者
"	かい ようこ 甲斐 陽子	公募	家庭教育関係
			主婦
"	ささき ちよんみ 佐々木 晶美	公募	家庭教育関係
			主婦
任命	さいとう ふみえ 齊藤 文栄	県公立小中学校長会代表	学校教育関係
			甲府市立朝日小学校校長
"	あべ くにひこ 阿部 邦彦	県高等学校長協会代表	学校教育関係
			県立甲府昭和高等学校校長

山梨県立美術館関係者の行動規範

山梨県立美術館

平成25(2013)年4月1日 制定

趣旨

山梨県立美術館（以下「県立美術館」という。）は、人類共有の財産である貴重な資料を分かち合い、文化を継承、創造していく機関である。県立美術館は、過去と現在と未来をつなぐことで、豊かな感性と知性にあふれる力ある社会を築くことに貢献する。このような県立美術館の公益性を高めるために、県立美術館に携わる者が尊重すべき拠りどころとして、この行動規範を示す。

対象

この行動規範は、山梨県の職員、指定管理者の職員、指定管理者から業務委託を受けた者の従業員、山梨県立美術館協力員をはじめとするボランティア、インターン等の県立美術館に携わるすべての者を対象とする。

山梨県立美術館関係者の行動規範

平成25(2013)年4月1日 制定

行動規範 1. 貢献

県立美術館に携わる者は、県立美術館の公益性と未来への責任を自覚して、学術と文化の継承・発展・創造のために活動する。

行動規範 2. 尊重

県立美術館に携わる者は、資料の多面的な価値を尊重し、敬意をもって扱い、資料にかかわる人々の多様な価値観と権利に配慮して活動する。

行動規範 3. 経営

県立美術館に携わる者は、県立美術館の使命や方針・目標を理解し、目標達成のために最大限の努力を行い、評価と改善に参画する。県立美術館は、経営資源を最大限に活かし、透明性を保ち、安定した経営を行うことで公益の増進に貢献する。

行動規範 4. 収集・保存

県立美術館に携わる者は、資料を過去から現在、未来へ橋渡しをすることを社会から託された責務と自覚し、収集・保存に取り組む。また、山梨県、山梨県教育委員会及び県立美術館の定める方針や計画に従い、正当な手続きによって、体系的にコレクションを形成する。

行動規範 5. 調査研究

県立美術館に携わる者は、県立美術館の方針に基づき、調査研究を行い、その成果を活動に反映し、県立美術館への信頼を得る。また、調査研究の成果を積極的に公表し、学術的な貢献を行うよう努める。

行動規範 6. 展示・教育普及

県立美術館に携わる者は、県立美術館が蓄積した資料や情報を人類共有の財産として、展示や教育普及活動など様々な機会を捉えて、広く人々と分かち合い、新たな価値の創造に努める。

行動規範 7. 研鑽

県立美術館に携わる者は、教育・研修等を通じて、専門的な知識や能力、技術の向上に努め、業務の遂行において最善を尽くす。また、自らの知識や経験、培った技能を関係者と共有し、相互に評価して美術館活動を高めて行く。

行動規範 8. 発信・連携

県立美術館に携わる者は、人々や地域社会に働きかけ、他の機関等とも対話・連携して、県立美術館の総合力を高める。

行動規範 9. 自律

県立美術館に携わる者は、財団法人日本博物館協会が定めた「博物館の原則」とこの行動規範に基づき活動する。

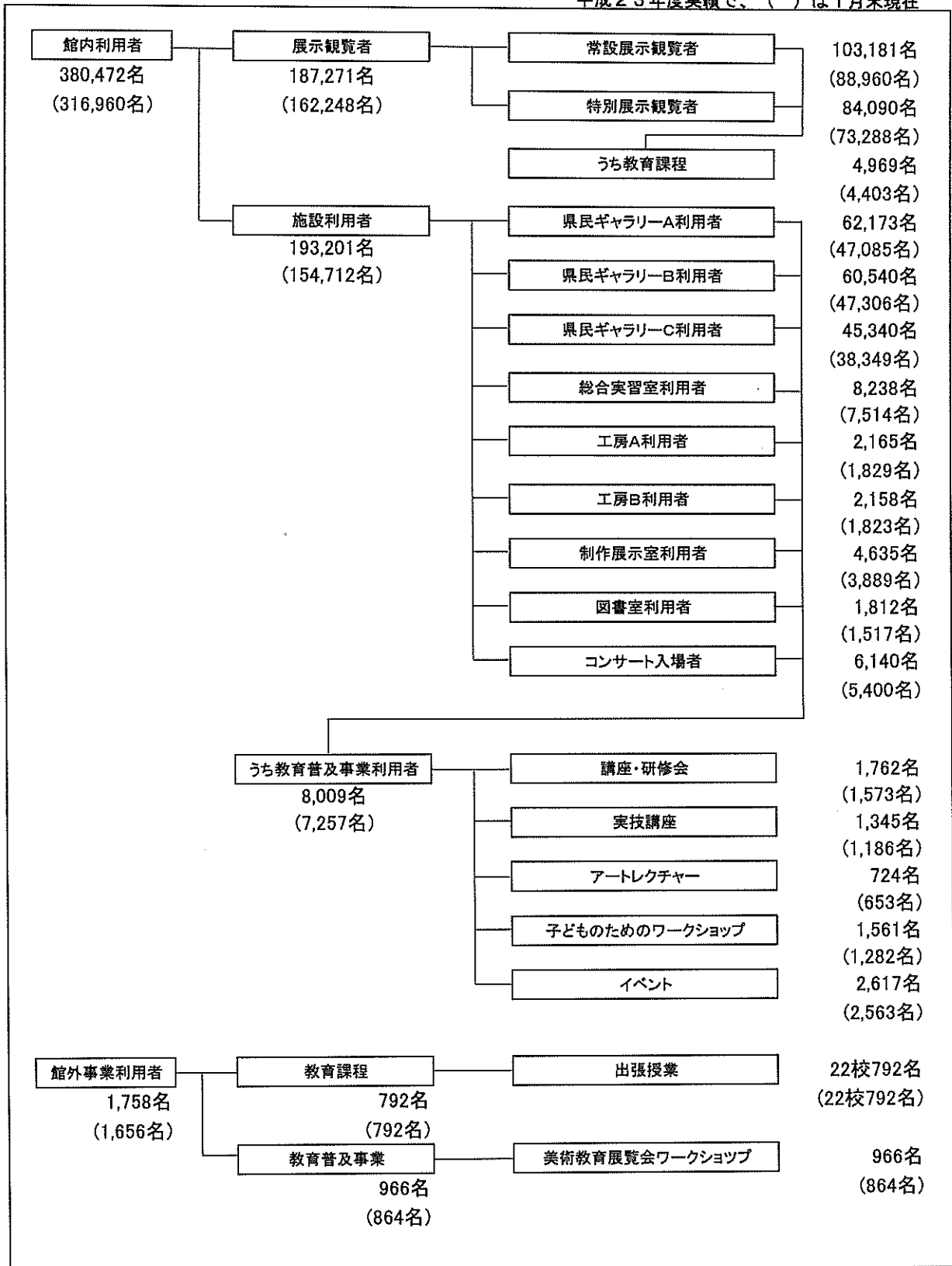
また、博物館法及び同施行令、地方自治法及び同施行令、山梨県立美術館設置及び管理条例及び同施行規則等の関連法令や ICOM（国際博物館会議）の倫理規程、県立美術館の館長の定める要綱・要領等を遵守しなければならない。

行動規範 10. 設置者への働きかけ

県立美術館の設置者である山梨県には、県立美術館が使命を達成し、公益性を高められるよう、財源の確保、人的措置、施設整備等の基盤の整備に努めるよう要請する。また、県立美術館にかかわる人と収蔵品の安全確保を図るよう要請する。

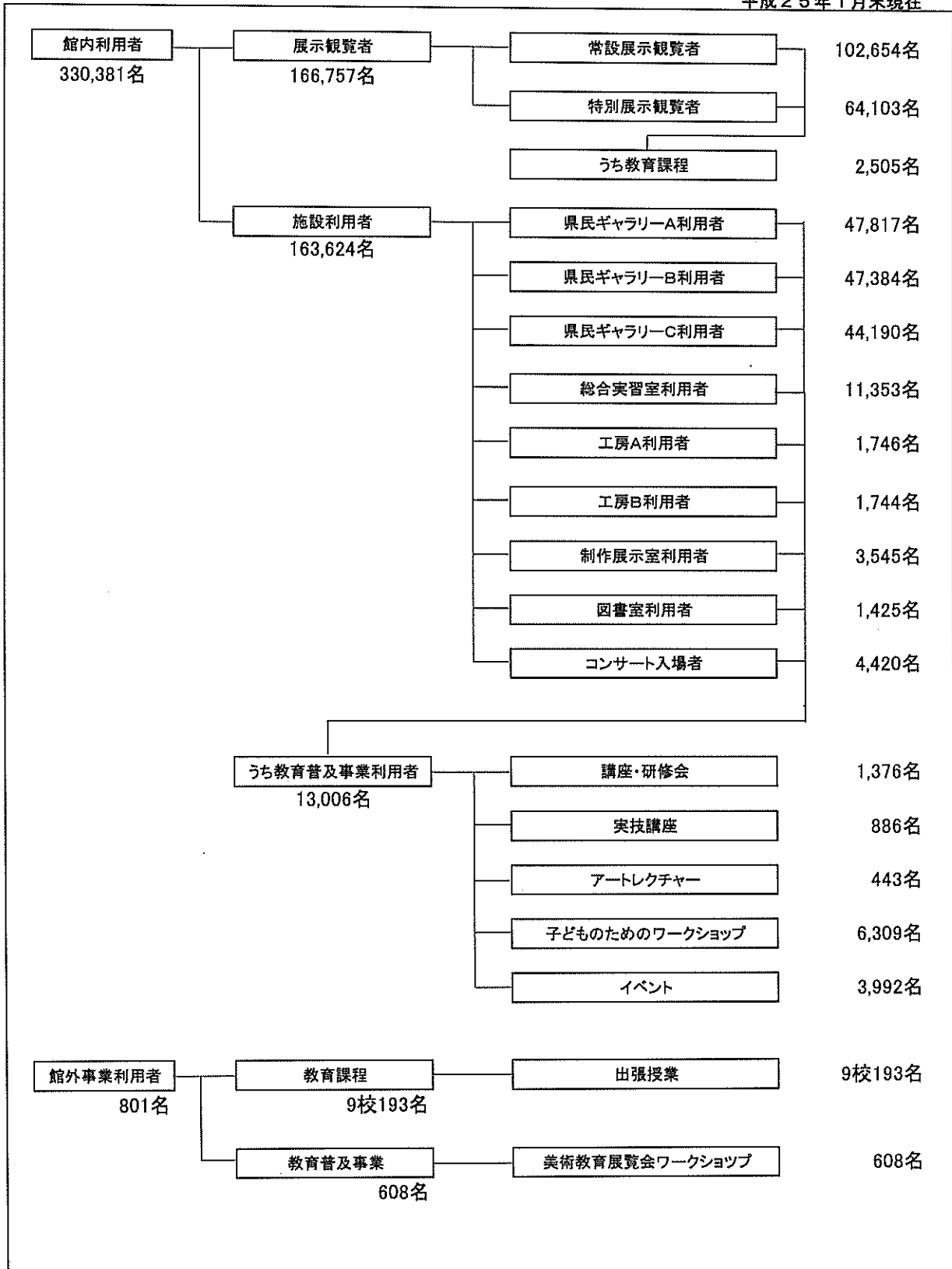
美術館「利用者」の状況

平成23年度実績で、()は1月末現在



○利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

平成25年1月末現在



山梨県立美術館 常設展・特別展観覧者の推移

年度	開館日数	常設展	特別展	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,083	174,333
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	162	102,645	64,103	166,748
計	10,110	9,095,002	3,307,505	12,402,507

月別集計数(平成23年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数
4	26	4,670
5	26	8,618
6	26	7,659
7	27	8,520
8	27	14,850
9	26	8,180
10	29	11,912
11	26	13,966
12	24	4,681
1	27	5,904
2	25	8,207
3	21	6,014
1月まで	264	88,960
年度計	310	103,181

月別集計数(平成24年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数	
4	26	9,094	195%
5	27	11,748	136%
6	27	9,951	130%
7	27	8,256	97%
8	28	14,126	95%
9	27	10,216	125%
10	27	11,142	94%
11	28	16,121	115%
12	24	3,415	73%
1	26	8,576	145%
2			0%
3			0%
計	267	102,645	115%

特別展 (H23年度)

展覧会名	開催日数	観覧者数
新収蔵品展	33	6,558
ゲーシュツのウラ	19	9,750
ムーミン	45	26,972
川端	59	16,999
浅川	32	9,524
ドニ	48	12,719
新収蔵品展	7	1,568
年度計	243	84,090

特別展 (H25.1末)

展覧会名	開催日数	観覧者数	
新収蔵品展	13	3,051	
ローランサン	52	15,244	
増田誠	63	15,770	
大倉集古	46	23,442	
十一屋	38	6,596	1月末日まで
新収蔵品展			
年度計	212	64,103	

平成25年度 山梨県立美術館特別展概要

名 称	会期	展示内容
富士の国やまなし国文祭記念事業 「望月春江とその時代」	4月27日(土) ～ 6月9日(日)	望月春江(1893-1979)は、甲府市に生まれ、東京美術学校(現、東京藝術大学)日本画科を首席で卒業後、第9回・10回帝展で続けて特選を果たして一躍、その名が世に知られた。その後も帝展、文展で活躍、昭和33年には日本芸術院賞を受賞した。本展は、開館して間もなく開催された望月春江展から30年以上を経て、新たに発見された作品や資料を加えて、改めて春江の画業を顕彰する。
富士の国やまなし国文祭記念事業 やまなしの美術館大全 「水を巡る旅」	6月15日(土) ～ 6月30日(日)	山梨県には、多彩な活動をするミュージアムが各地に存在する。本展覧会には県内28館が参加し、所蔵作品を県立美術館に集結する。展覧会期間中には、参加館のスタッフによるギャラリートークなど、関連イベントを開催予定であり、各ミュージアムの特色を一度に楽しむことができる。
富士の国やまなし国文祭記念事業 「近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展」	7月13日(土) ～ 8月25日(日)	19世紀初頭、フランスのバルビゾン派の活動を見ながら、オランダの首都デン・ハーグを拠点として風景画に取り組んだ「ハーグ派」と呼ばれる画家たちがいた。本展では当館のコレクションの中心であるバルビゾン派とつながりの深いハーグ派を紹介することにより、ヨーロッパ全体に広がった近代的な絵画思想の芽生えを展観する。
富士の国やまなし国文祭記念事業 「日本のわざと美」展 ー重要無形文化財とそれを支える人々ー	9月7日(土) ～ 10月14日(月・祝)	「人間国宝」とよばれる、重要無形文化財の保持者たちの優れた「わざ」と「美」を紹介する。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙、など、多様な工芸分野の伝統によって守られてきた技術に裏打ちされた美を味わうことが出来る。重要無形文化財のわざと、文化財を支える技術を公開する文化庁の事業。
富士の国やまなし国文祭記念事業 「生誕100年 萩原英雄展」	10月26日(土) ～ 12月8日(日)	萩原英雄(1913～2007)は、甲府市に生まれ、東京美術学校(現、東京藝術大学)で油絵を学んだ後、木版画の制作を始めた。独自の技法をこらした抽象木版と呼ばれる作品を発表、数々の国際展で高い評価を得た。本展では、作家から寄贈された約4000点の中から作品を選び出し、生誕100年を迎えた萩原英雄の軌跡を振り返る。
美術館からのクリスマス・プレゼント &お年玉企画展 「動物ものがたり」	12月14日(土) ～ 2014年 1月19日(日)	絵本や物語の主人公として大活躍する動物たちを、絵本原画を展示することで紹介する。「動物図鑑」のコーナーでは、生涯動物を描き続けた絵本画家、数内正行作品を紹介する。また「絵の中の動物たち」のコーナーでは、当館所蔵品から動物が描かれた作品を展示する。触って楽しむ、つくって楽しむ造形広場も開催する。

教育普及担当事業について

教育普及事業の内容は次のとおりです。

事業名	事業内容
小・中・高生等の美術館訪問対応	小中高の総合的学習・校外学習などによる美術館訪問を受け入れます。 また、職場体験、博物館実習等を行います。
教師の鑑賞研究会	特別展ごとに美術教師を中心にあつまっていただき学芸員のギャラリートークを中心とした鑑賞研究会を行います。
美術館鑑賞教育及び実技研修受け入れ	教師の美術館での研修会等(夏休みを中心に山梨造形研究会との連携及び学校単位での研修会)アートボックスを使用し、鑑賞教育の充実を図ります。
みんなでつくる美術館「参加型教育美術展」	美術館内外でワークショップを開催し、表現活動の楽しさを体験します。美術館でも展覧会を開催し、ワークショップを通して、参加者がつながれる機会を提供します。
キッズ・プログラム等	特別展を鑑賞する上でヒントとなるような活動を導入することで、こどもたちが美術への関心をふかめます。
ワークショップ 美術体験・実技講座 (初心者・障害者向け) (経験者向け)	製作体験をもとに、作家の指導のもと作品を製作することで展示作品に理解を深め、さらに、作家の視点で美術館を楽しめる機会を提供します。
ワークショップ 夏休みワークショップ	夏休みの休館日に小学校高学年から中学生までを対象として行う。 美術館の役割・美術館内側の探検・ミレーコレクションを中心にした作品のレクチャー・美術館での作品に関する仕事(展示・修復・梱包・表装・等)の体験。
造形広場	月1回、外部講師を招いて幼児～小学生向けの工作教室を行います。
創作教室	季節の行事に合わせた創作活動を、小学生以上の児童・生徒、大人向けに行います。
ビジュアル・エデュケーション ・ギャラリー(映画会)	美術館のコレクションの映画会を行います。
美術講演会・ギャラリートーク ・大人のための美術講座	各特別展に関連した講演会及びギャラリートークを開催します。
アートボックス等教材貸し出し	アートボックスの貸し出しと利用に際しての研修会を行います。
キュレーターズ・アイ	ギャラリー・エコー等を利用して山梨に関わりの深い作家を紹介し ます。

平成24年度 新収蔵作品リスト

作家名	作品名	作品形状
河内成幸	華(V)	木版・紙
	華(IV)	木版・紙
	加速夢区	木版・紙
	桂(XII)	木版・紙
	量知れぬ無限の苦悩	木版・紙
	調和の不公平	木版・紙
	H公(I)	木版・紙
	H公(II)	木版・紙
	Alice(I)	木版・紙
	Mrs. A女史(III)	木版・紙
	Mrs. A女史(I)	木版・紙
	亀裂(VIII)	木版・紙
	亀裂(VII)	木版・紙
	亀裂(XVI)	木版・紙
	亀裂(XVII)	木版・紙
	亀裂(XV)	木版・紙
	亀裂(XIII)	木版・紙
	亀裂(XIV)	木版・紙
	亀裂(V)	木版・紙
	亀裂(VI)	木版・紙
	Flying B(起)	木版・紙
	Flying B(承)	木版・紙
	Flying B(転)	木版・紙
	Flying B(結)	木版・紙
	流(B)	木版・紙
	桂(B)	木版・紙
	心(B)	木版・紙
	華(B)	木版・紙
	転(B)	木版・紙
	起(B)	木版・紙
	理(D)	木版・紙
	理(C)	木版・紙
	華(II)	木版・紙
	火の華(V)	木版・紙
	華(I)	木版・紙
	支え(I)	木版・紙
	Flying(VIII)	木版・紙
	Flying(VII)	木版・紙
	Flying(IV)	木版・紙
	単なる右と左	木版・紙
	単なる物	木版・紙
The Infinite and Love(II)	シルクスクリーン・ステンレス	
思想のめどめのための物質の寝床は冷たければ冷たいほどいい(その3)	ミストメディア	

平成24年度 新収蔵作品リスト

作家名	作品名	作品形状
穴山勝堂	富嶽早春	絹本着色
	踏切を通過する	絹本着色
望月春江	まわし	
高野誠	異郷	瑪瑙香炉・香合(一対)
	柘榴	瑪瑙香合
古沢岩美	パリの女	油彩・麻布
増田誠	リュウ・ムフタール	油彩・麻布
わたなべゆう	Collection No50	油彩・麻布
	Collection No113	油彩・麻布
埴原久和代	漁村	油彩・麻布
	無題(シクラメン)	油彩・麻布
	花	油彩・麻布
	ゆかた	油彩・麻布
	無題(臨海風景)	油彩・麻布
	赤い本	油彩・麻布
	久和代正直宛書簡	インク・紙
	絵はがき張り込み帖 一式	
	絵はがき 一式	
卒業の日(東京朝日新聞付録カレンダー)	カラー印刷	
小林一枝	おだやかな牧場	油彩・麻布
栗山茂	貝族	木版・紙
	或る痴像	木版・紙
	古墳地帯-A	木版・紙
	生物詩-1	木版・紙
	古墳地帯-緑	木版・紙
	古墳地帯-赤	木版・紙
	古代の賦-狩りの生活	木版・紙
	表慶館—東京国立博物館	木版・紙
	古代の賦-歌垣	木版・紙
	古代の賦-汝が心告れ	木版・紙
	古代の賦-狩りの生活	木版・紙
	いか	木版(プリント)・紙
三木俊治	ミレー"晩鐘"150周年記念へのオマージュ	アルミ板
郭徳俊	フォードと郭(B)	セリグラフ・紙
福村龍哉	Ft-1	鉄、セメント
	Ft-2	鉄、セメント

79 作品